

甲府警察署協議会 令和4年度第3回定例会議 議事概要

開催日	令和4年11月29日(火)
開催場所	甲府警察署2階大会議室
出席者	協議会 会長及び委員 9名 警察署 署長、副署長、課長、係長等 15名
議事概要等	<p>1 代表者会議結果報告 協議会会長から令和4年度代表者会議結果報告がなされた。</p> <p>2 令和4年7月から9月までの業務推進状況 各課長から業務の推進状況について説明した。</p> <p>3 意見・要望の聴取及び回答</p> <p>(1) 実は、10月、11月の2ヶ月間の内に我が家に3件の電話詐欺と思われる電話があり、いずれも保険の還付金があるという話であった。 立て続けに同じ内容の電話があったのは、複数のグループがあるからなのか、それとも我が家が狙われているという事なのだろうか。 【回答】 確かに電話詐欺グループは、複数存在していると思われる。 介護保険料の電話であったり、息子や孫を騙るオレオレ詐欺だったり、高齢者をATMまで誘導させて現金を振り込ませる還付金詐欺など、様々な手口がある。 犯人グループは何らかの名簿を元に電話をかけていると思われるものの、特定のお宅が狙われているかどうかは分からないところではあるが、電話があったときには、個人情報絶対に伝えないことが重要である。 例を挙げると、口座情報とか、「一人で家にいる」などである。 個人情報を教えると、犯人グループが、騙せるのではないかと判断して、複数、電話をかけてくることから、絶対に自分の個人情報は教えない。 もし電話があれば、直ぐに対応するので110番通報していただきたい。</p> <p>(2) 昨年と比べ、遺失・拾得の取扱いが増えている。 様々なイベント等が再開されたためだと思われるが、どのような場所で増加しているのか。 【回答】 甲府市中心街やJRでの遺失・拾得が増加している。 委員のご指摘のとおり、甲府市中心街でのイベントの再開や旅行者が増加していることが考えられる。</p> <p>(3) 留置された者が自分のTシャツを破って首つり自殺をしたという報道があったが、留置される際は、自分の着てきた服をそのまま着て留置されるのか。別の服を着させるのは可能なのか。</p>

【回答】

新規入場の際には、慎重に被留置者の身体着衣を点検しており、自殺防止のため、フードや紐が付いている服は留置場内には入れずに、服の貸し出しを行っている。

その他、毎朝、室内を点検したり、様子がおかしい者については、特別要注意者に指定し、巡回を重点的に行って監視を強化するなどの自殺防止対策を実施している。

- (4) 電話詐欺をしている者は、男性が多いと聞いたが、男性は、親から離れたときに両親との連絡を取らないことが多い。

親は子供の声を忘れ、子供も自分の親に育てられたという愛情を忘れるくらいになっていると思われ、愛情がないから、他人の親に対しても、騙すことができるのだろうと思う。

そこで、特に男の子に対する教育を充実させることも防犯のためになるのではないかと思うので、検討してもらいたい。

【回答】

ご意見を参考に検討して参ります。

- (5) 刑事第一課の業務説明で性犯罪捜査員教養の報告を受けたが、この教養は、捜査員の経験によるものなのか、それとも捜査手法に関する教養か。

【回答】

後者である。

警察本部で専門的な教養を受けた捜査員が署員に教養を行ったもので、できるだけ多くの署員に捜査手法を習得させるために還元教養を実施した。

- 4 令和5年上半期速度取締指針について

令和5年上半期の甲府警察署速度取締り指針に関する諮問が行われ、「異議なし」との答申を受けた。

会議の状況

